

令和3年度 第2回北広島市上下水道事業経営審議会

(閲覧用)

日 時：令和3年11月29日(月) 09:30～11:30

場 所：北広島市役所5階 委員会室

出席者：(委 員)

高橋会長、細谷副会長、関谷委員、原口委員

檜山委員、吉岡委員(6名)

(事務局)

藤縄水道部長、木村経営管理課長、佐々木下水道課長兼アクア・バイオマスセンター長、中田経営管理課主査、鈴木経営管理課主査、名和経営管理課主任(6名)

≪議事概要≫

1 開会

2 会議成立報告

事務局：委員8名中、6名出席で、北広島市上下水道事業経営審議会条例第5条第3項の規定により、会議成立を報告

3 議事録署名委員の指名

高橋会長より吉岡委員を指名

4 案件

(1) 下水道ビジョン・経営戦略(案)について(全8章のうち第1章から第7章まで)

事務局より説明(前回、指摘のあった部分等について(第1～5章))

〈質疑応答・委員からの意見等〉

A 委員：18 ページの説明をもう一度お願いします。

事務局：こちらのグラフは一般的に公表されているものではなく、他自治体のホームページなどを参考に作成したものであるため35市全ての自治体名を出すことは控えさせていただいています。

A 委員：参考資料で、令和3年度との比較の説明がありましたが、今回の経営戦略には載せられないということで参考資料なのでしょうか。

事務局：令和3年度のデータについては、経営戦略に掲載するとすれば、最長で引っ張っても1月分くらいまでです。どこまで掲載するかについても審議会でご審議いただきたいと思います。

B 委員：デジタル化が進んでいますが、DXをどのように推進していきますか。

事務局：下水道事業のDXについては、災害時などには限られた人員で効果的に活動するため、ICT計測機器等を導入にすることにより、いち早く情報収集にすることが望まれますが、まだ確立されている技術ではありませんので今後の技術発展を見据えながら導入を検討していきたいと思います。

B 委員：北広島市の下水道使用料は高くないと思っています。札幌市と比べて高いと言っている市民が多いと思うので、同規模の自治体と比べれば安いということがわかるように記載していただきたい。

C 委員：同規模の自治体は把握しましたが、金額的にはどれくらいなのか教えてほしいと思います。

事務局：同規模の自治体の金額を説明。

D 委員：マンホールカード配布実績を見ると市外や道外の方に多く配布している実績があるので、今回の経営戦略の中に観光の観点も絡めて掲載することは可能なのでしょうか。

事務局：可能ですので、掲載したいと思います。

A 委員：31 ページの有収水量の推計はどちらの推計方法を使うのでしょうか。

事務局：31 ページではどちらを使うという表現はしていませんが、64 ページで推計方法2を用いる旨を記載しています。

A 委員：経営戦略の中でカーボンニュートラルについては記載するのでしょうか。

事務局：実態に合わせて盛り込むべきかを検討します。

事務局より説明（第6～7章）

〈質疑応答・委員からの意見等〉

E 委員：地震対策について耐震化率を54.5%に上昇させるとあるが、最終的には何%まで上昇させるのでしょうか。また、投資・財政計画は前提条件として物価及び人件費の上昇は加味しているのでしょうか。

事務局：100%を目標にしていますが、今現在の耐震化で求められているのは、考えられる最大の地震が来ても壊れないという基準となっています。次に、投資・財政計画については、物価の上昇については加味していませんが人件費については、加味しています。

A 委員：下水道施設の耐震化は具体的にどのようなことをやっているのでしょうか。

事務局：アクア・バイオマスセンターについては壁等を厚くしたりしています。管路については、水道と違って下水道は耐震管などありません。そのため、管の1本ずつの長さを短くして継ぎ手を多くすることにより、地盤の変動に管路が追従できるようにしています。

事務局：31ページで水量の見込みをしていますが、今後の見込みが難しい状況にあります。現状の見込みについて委員皆様のご意見はありますか。

全委員：意見等なし

5 その他

事務局：次回審議会の日程等について説明

6 閉会（11時30分終了）

以上、会議のてん末を記録し正確を期するため、ここに署名する。

令和 年 月 日

議 事 録 署 名 委 員 _____